

平成30年度採用分若手研究者海外挑戦プログラム

申請書提出にあたっての事務担当者用チェック要領

申請書類の提出は電子申請システムでの提出（送信）のみとしています。
（ただし、申請件数一覧及び申請リストについては、郵送等による提出が必要です。）

申請書類を取りまとめ本会に提出（送信）いただくにあたり、申請資格不備にて選考の対象外とせざるを得ない案件が発生しております。各機関におかれましては、いま一度、精査していただくようお願いします。

申請書類の提出（送信）方法等、特に注意していただきたい事柄を以下に掲げますので、提出前に確認してください。

申請者が「電子申請システム」内で一度「提出」の処理をした「申請書情報」の記載内容を訂正する場合、事務担当者は「電子申請システム」内で当該申請者の「申請書」の「却下」の処理をします。その後、申請者本人に「電子申請システム」上の情報を訂正させ、その後再度「提出」の処理をさせていただきます。

なお、一度取りまとめて本会に提出（送信）いただいた後は、追加することは認められませんので、御注意ください。申請書提出後の申請書の修正・差し替えは本会では一切受理しませんので、募集の周知の際にその旨を申請者へ必ず御指導ください。

1. 申請書類の提出方法について

申請書類の提出に当たっては以下の2種類を行っていただく必要があります。それぞれについて期限が設定されています。

(1) 申請書類の電子申請システムによる提出（送信）【Web上の送信のみ・紙媒体の提出は不要】

- ・申請書類の構成は下表のとおりです。
- ・申請書類全てが揃わなければ、申請することはできません。
- ・申請リストの確定を行うことにより、本会へ申請書類が提出（送信）されます。
※郵送等による紙媒体の申請書類の提出は不要です。（申請機関が作成する書類は除く。）
- ・本会への申請書類の提出（送信）期限は、**平成29年10月16日（月）17:00【厳守】**です。

<申請書類の構成および作成方法>

	内容	作成方法	作成者
申請書情報	学歴・研究課題名等を記載	電子申請システムにおいてWeb入力※	申請者
申請内容ファイル	現在までの研究状況・派遣先における研究計画・研究業績等を記載	本会ホームページから取得したWord等で作成後、電子申請システムへ登録	申請者
受入意思確認書	海外における受入研究者の受入に関する意思の確認	電子申請システムにおいてWeb入力 ※ID・パスワードは、申請者が	海外における受入研究者
評価書	申請者の研究内容に精通している研究者1名による評価	作成依頼処理をすることで、電子申請システムより作成者へEmailにより通知	評価書作成者

(2) 申請機関が作成する「申請件数一覧（別添1）」・「申請リスト（別添2）」の提出【紙媒体での郵送等による提出】

- ・申請書類の提出（送信）とは別に、「申請件数一覧」・「申請リスト」の2点の書類は紙媒体で提出してください。
- ・「申請件数一覧」と「申請リスト」については、本会の「電子申請システム」より印刷してください。
※「電子申請システム」より出力した「申請件数一覧」ファイルにより印刷ができない場合には、「電子申請システム」の出力画面の注意書き中の「こちら」より Word ファイルを出力することができますので、そちらに件数等を手動で入力し、印刷してください。
- ・「申請リスト」は、部局順・受付番号順に申請者が掲載されます。（受付番号は、申請者が「申請書情報」の入力を完了した際に自動的に付番されます。申請機関内で連番にはなりません。）
- ・本会への書類の提出期限は、平成29年10月16日（月）～10月20日（金）17:00【必着】です。

2. 申請書のチェック項目について

1) 申請資格等を満たしていることの確認について

- ① 採用年度の4月1日現在、我が国の大学院博士後期課程に在籍する者（申請時は見込みでも良い。）
- ② 申請時かつ採用時において日本国籍を持つ者、又は日本に永住を許可されている外国人
- ③ 連続して3か月以上、研究のために海外に滞在した経験がない者
（申請時において既に研究のために海外に滞在中で、連続して3か月以上海外に滞在する予定の者も申請できません。）

※ 外国人の申請について

日本に永住を許可された外国人は申請できます。（在留資格が「留学」、「日本人の配偶者」等の場合は、申請できません。）本会への提出前に在留資格を確認してください。採用内定後の派遣開始手続時に、「永住許可証の写し」の提出いただきます。

2) 「⑪大学院博士課程」と「⑫学歴」の記載内容について

「⑪大学院博士課程」欄の入学年月等の記載内容と、「⑫学歴」欄に記載された学部及び修士の学歴とのあいだに、矛盾している点がないかを確認してください。

3) 「⑯大学院博士後期課程における研究指導者」について

所属機関、部局、部局種別、職名が正確に記入されているかを確認してください。

4) 「⑰海外における受入研究者」について

所属機関、部局、部局種別、職名が正確に記入されているかを確認してください。

【申請書情報のチェック箇所】

申請書情報（Web上で入力）部分の必須項目、桁数チェック等の基本的なチェックは電子申請システム上で行っています。上述の注意事項に留意した上で、申請書情報のチェックは下記の項目について行ってください（該当箇所は、次ページの図をご参照ください）。

A：申請者氏名

指定の登録方法で登録されているか確認してください。（「電子申請システムによる申請手続の概要（申請機関担当者用）」P. 11参照）戸籍名は機関担当者が登録し、登録名およびローマ字表記は申請者が電子申請に入力します。

B：「大学院博士後期課程における研究指導者」等の研究者情報

貴機関に所属の研究者が記入されている場合、氏名や所属部局、職名等が正しく記入されているかを確認してください。

平成30年度 採用分 若手研究者海外挑戦プログラム 申請書 第 版		No. (申請書情報) 受付番号
①審査領域	②分科	⑤専門分野
③細目	④分科・細目コード	
⑥研究課題名 (和文) (英文)		
1. 申請者情報等 (所属機関コード:)		
⑦氏名	登録名 (フリガナ) (姓) (名) (漢字等) (姓) (名) 戸籍名 (フリガナ) (姓) (名) (漢字等) (姓) (名) ローマ字表記 (ローマ字) (姓) (名)	⑧性別 男 女
⑨国籍	日本 / 日本以外 (国名コード:) 国名: ()	
⑩生年月日	(西暦) 年 月 日 生 (西暦 2018 年 4 月 1 日 現在 歳)	
⑪大学院博士課程 (在籍または在籍予定)	入学年月 (西暦) 年 月 大学名 研究科名 課程種別	
⑫学歴 (学部、修士、博士)		
⑬研究・職歴等		
⑭派遣を希望する期間	(西暦) 年 月 日 ~ (西暦) 年 月 日 (日間)	
⑮派遣国		
⑯大学院博士後期課程における研究指導者	氏名 (フリガナ) (姓) (名) (漢字またはローマ字) (姓) (名) 科研究 研究者番号 所属機関名 部局名 職名	

氏名	(英文) (FAMILY NAME) (First Name) (Middle Name)
	海外受入研究者が日本人の場合、入力して下さい。 (漢字等) (姓) (名)
職	(英文)
	(和文)
⑰海外における受入研究者	(種別) 大学 / 国立試験研究機関 / 非営利の民間研究機関 (英文)
	(和文)
受入機関名	(英文)
受入部局名	(和文)
住所	
連絡先	電話番号: (内線) FAX 番号: Email:
⑱評価書作成者	氏名 (フリガナ) (姓) (名) (漢字またはローマ字) (姓) (名)
	所属機関名 部局名 職名
⑲研究活動における主な使用言語	連絡先 Email:
⑳外国での研究遂行能力について (語学能力の確認)	
㉑海外における研究・留学歴 (1か月以上海外で研究に従事した経験がある場合に記入してください。語学研修など研究以外の海外滞在は含みません。該当がない場合は「該当なし」と記入してください。)	訪問先: 目的: 期間: (西暦) 年 月 日 ~ 年 月 日
	訪問先: 目的: 期間: (西暦) 年 月 日 ~ 年 月 日

【申請内容ファイル・受入意思確認書について】

- ・申請内容ファイル：PDF 変換後、文字化けや図表について申請者が確認するよう御指導ください。
事務担当者の方における確認は不要です。
- ・受入意思確認書：事務担当者の方における確認は不要です。

【この様式は見本です。】

「電子申請システム」より印刷してください。

別添 1

申請機関コード

平成 年 月 日

若手研究者海外挑戦プログラム〔平成30年度採用分〕
申請件数一覧

独立行政法人日本学術振興会 理事長 殿

所属機関 所在地

研究機関 名称

機関長職・氏名

職印

若手研究者海外挑戦プログラム〔平成30年度採用分〕申請書を下記のとおり提出します。

記

申請件数 件 (内訳別紙リストのとおり)

担当部局

担当者名

連絡先住所

電話番号

F A X 番号

E-Mail アドレス

